

### 侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14～52週に53例、2014年に66例、2015年に113例、2016年1～16週に53例の届出があった。2016年はすでに2015年の届出数の約半数の届出がされたため、2013年14週から2016年16週に届出された285例の発生状況をまとめた。

性別は、男性176例(61.8%)、女性109例(38.2%)であった(表)。

年齢群別では、70代65例(22.8%)、60代52例(18.2%)、5歳未満51例(17.9%)、80代42例(14.7%)が多かった(表)。

診断月別届出数を図に示す。

図 2013年14週～2016年16週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症  
診断月別・年齢群別届出数 285例

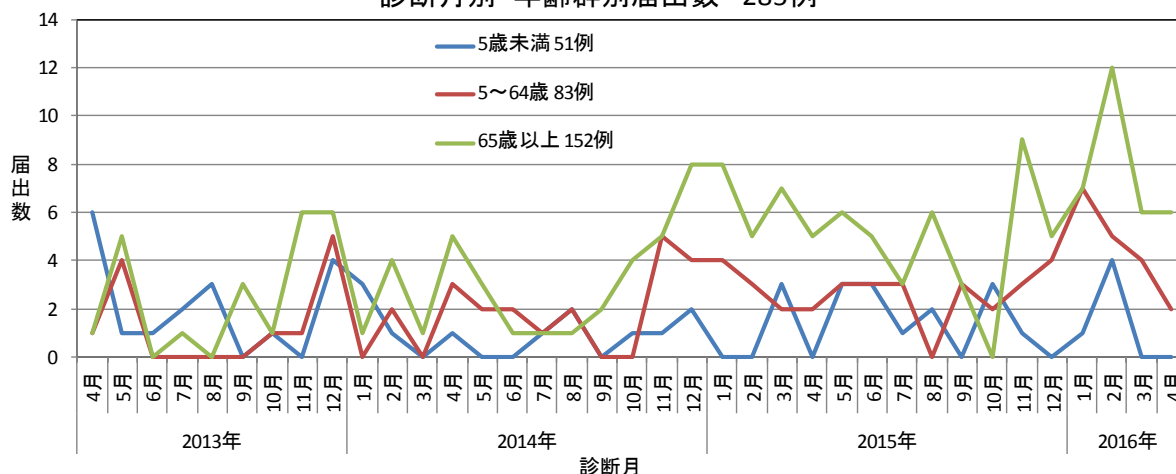


表 2013年14週～2016年16週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	性別	2013年14～52週		2014年		2015年		2016年1～16週		合計	
		届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性	男性	32	60.4	41	62.1	67	59.3	36	67.9	176	61.8
	女性	21	39.6	25	37.9	46	40.7	17	32.1	109	38.2
年 齢 群	5歳未満	18	34.0	11	16.7	17	15.0	5	9.4	51	17.9
	5～9歳	1	1.9	0	0.0	4	3.5	1	1.9	6	2.1
	10代	1	1.9	0	0.0	2	1.8	0	0.0	3	1.1
	20代	0	0.0	0	0.0	1	0.9	2	3.8	3	1.1
	30代	3	5.7	2	3.0	8	7.1	6	11.3	19	6.7
	40代	1	1.9	4	6.1	4	3.5	5	9.4	14	4.9
	50代	3	5.7	6	9.1	7	6.2	1	1.9	17	6.0
	60代	8	15.1	16	24.2	19	16.8	9	17.0	52	18.2
	70代	10	18.9	14	21.2	26	23.0	15	28.3	65	22.8
	80代	8	15.1	11	16.7	17	15.0	6	11.3	42	14.7
90代	0	0.0	2	3.0	8	7.1	3	5.7	13	4.6	
合計		53	100.0	66	100.0	113	100.0	53	100.0	285	100.0

症状等は、発熱244例(85.6%)、菌血症183例(64.2%)、肺炎127例(44.6%)、咳103例(36.1%)、意識障害70例(24.6%)、全身倦怠感55例(19.3%)、髄膜炎47例(16.5%)、頭痛38例(13.3%)、項部硬直25例(8.8%)、嘔吐25例(8.8%)、痙攣13例(4.6%)、中耳炎8例(2.8%)、大泉門膨隆1例(0.4%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が281例(血液263例、髄液40例)、病原体抗原の検出が32例、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出が10例(血液4例、髄液2例)であった(複数報告あり)。